

平成27年6月25日

国土交通大臣 太田昭宏 様
国土交通省九州地方整備局長 金尾健司 様
九州地方整備局学識者懇談会委員長 小林一郎 様
立野ダム工事事務所長 宮成秀一郎 様
熊本県知事 蒲島郁夫 様

立野ダムによらない自然と生活を守る会 代表 中島 康
ダムによらない治水・利水を考える県議の会 代表 西 聖一
立野ダムによらない白川の治水を考える熊本市議の会 代表 田上辰也
代表連絡先 熊本市西区島崎4丁目5-13 中島康
電話 090-2505-3880 FAX 096-354-2966

立野ダムへの住民の声を歪曲したことに対する抗議文

6月13日の熊本日日新聞によると、国土交通省の学識者懇談会は、立野ダム建設事業の継続を了承したとのこと。学識者懇談会は、同省の事業計画のチェックや事業評価にあたるのですが、メンバーは国土交通省が選んだ学識者ばかりです。これでは事業者にとって都合のいい結論が出るだけです。

平成24年9月に開かれた立野ダム公聴会（「立野ダム建設事業の検証に係る検討報告書（素案）」に対する関係住民からの意見を聴く場）では、熊本市、大津町、南阿蘇村の3会場で流域住民30人が発言し、全員が立野ダム建設反対意見を述べ、立野ダムをつくってほしいという意見を述べた人は1人もいませんでした。にもかかわらず、国土交通省は学識者に「早期完成を望む声も強い」と説明している点を強く抗議します。そのような国土交通省の姿勢を容認する学識者懇談会と熊本県に対しても、抗議する次第です。

立野ダムは、阿蘇外輪山の唯一の切れ目である立野火口瀬に国土交通省が計画した、洪水調節だけを目的とした高さ90mの「穴あきダム」です。洪水時に、立野ダムの下部にある3つの穴（高さ5m×幅5m）が流木などでふさがり、洪水調節不能になる問題や、その場合、ダム満水とともに下流の洪水流量は0から最大になり、下流の白川の水位は急激に上昇し、危険な状況になる懸念を、これまでに私達は何度も指摘してきました。しかし国土交通省は、そのような住民の疑問にまともに答えようとはせず、住民が要望している立野ダムの説明会さえ開こうとしません。

公共事業が住民のために行われるのであれば、事業の情報を住民に広く知らせるとともに、事業をチェックする場合は、住民の意思を反映させるべきです。

立野ダム事業が多くの問題を抱えている点は、これまで何度も提出しました要望書等で述べたとおりです。蒲島知事も熊本県議会において「立野ダムについては、国土交通省に説明責任を果たすよう求め続けます」と発言しています。立野ダム事業についての説明責任が全く果たされていない状況の中、立野ダムへの住民の声を歪曲したことに対し強く抗議するとともに、下記2点について、再度強く要請します。

記

1. 白川流域の市町村ごと、熊本市にあっては白川沿いの中学校区ごとに立野ダム事業に関する説明会を開催すること。その際、住民の質問については真摯に回答し、住民の意見を十分に聞くこと。
2. 上記説明会が開催され、国土交通省が立野ダム事業についての説明責任を果たすまでは、立野ダム仮排水路トンネル工事を中断すること。

以上